

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（野の花）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デイサービスでの活動以外でも家庭内の困り感や問題について支援に結び付けています。また、緊急携帯等、緊急時対応もしています。	必要な家庭には利用が無い時も電話で連絡や家庭訪問、事業所内相談などをして、問題がないか等、情報共有しています。	自分の困り感を上手く表現できない子どもには家族にも丁寧にヒアリング、アセスメントをチームで行っていきます。
2	学校、関係機関との連携の部分で法人内で情報共有が出来ます。	必要なケースに対しては法人内の他事業所（居宅支援事業・クリニック・短期入所事業）と連携して必要な場合は会議を開きます。	法人以外の事業所などにも積極的に繋げていきます。
3	研修を年代別、部門、法人、専門職等で内外の研修に取り組み学習の機会を設けています。	年間のスケジュールで法人内の研修を開催しています。外部研修も積極的に参加出来る様に掲載しています。	自分の担当の年齢だけでなく幼少期・学童期・青年期と学習の対象の年齢の幅を広げて一人の人間として道筋や見通しを持って関わられるように学んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用対象児が普通学級・支援級・支援学校等障害の程度が違う中で活動の取り組みに違いがあり支援の細分化、個性が必要になって来る事があります。	利用する子どもたちの特性、発達理解や関わりに対して広い専門領域が必要になってきます。	研修会や事例検討などでさまざまな子どもの障害や特性について学んでいます。
2			
3			